

SATTE GIKAI

Vol.120

2026年
9月定例会

特集2～4ページ

令和7年度決算

どんな事業がすすめられたのか？
どの様に使われたかをチェック

特集6ページ

幸手市市政施行

40周年！

市民が盛り上げる記念事業

認定

令和７年度　一般会計決算

歳入総額 221億　958万4,146円

歳出総額 207億3,751万1,391円

シティプロモーション映画製作事業



映画セミナー、脚本ワークショップ、演技ワークショップ、市民オーディション、などを開催し市内外から延べ人数で928名が参加しました。また当日参加できない人のために公式ホームページからも映画のロケ候補地や映画の中に出てくるレシピを募集するなど関係人口を増やすことができました。

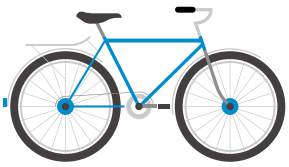
3,000万円

ふるさと納税募集事業　※写真はイメージです



ホームページ等で幸手市に対する「ふるさと納税」を募集するとともに、寄附金をいただいた方に対し、感謝の気持ちとして、お米をはじめとして、高評価の返礼品をお贈りした結果、令和６年度に比較して、件数で1.8倍、寄付金で3.3倍の結果がでました。

2億4,762万100円



証明書交付対応行政キオスク端末導入事業



行政キオスク端末を活用した証明書発行により、住民サービスの質が向上し、手続きの効率化が進展しました。住民の利便性向上と窓口業務の混雑緩和につながりました。市役所１階にも設置して大変好評です。

機械器具費243万3,530円

空き家対策事業　※写真はイメージです



令和６年度に実施した幸手市空家等実態調査の結果を基礎資料として、「幸手市空家等対策計画」を策定し、今後の市内の空家等対策を総合的かつ計画的に推進するとともに、空家等の発生の抑制、利用・除却及び適正管理の促進を図りました。

654万3,000円

昨年度は、どんな事業が進められたの？どう使われたのか しっかりチェック！

ねんりんピック事業



令和７年度のリハーサル大会を通じて、大会運営上の課題を把握・改善し、令和８年度開催の「ねんりんピック彩の国さいたま2026囲碁交流大会」の円滑な運営体制を整備するとともに、関係機関との連携強化及び大会開催機運の醸成を図ることができました。

124万5,773円

ハッピーエール応援券発行事業



市民１人当たり1,500円の応援券の配布は、長引く物価高騰の影響を受けている市民生活や地域経済を支援するものです。市民全員を対象に平等に支援しました。**8,128万7,539円（事務費補助金1,569万5,039円を含む）**（地方創生臨時交付金充当事業）

地産地消SDGs物価高騰対策事業

物価高騰の影響を受ける事業者に対し、幸手産米の購入量に応じた補助金を交付することで、地産地消の推進と市内事業者の経営を支援することができました。

13件254万6,000円

総合防災訓練事業（九都県市合同防災訓練）



防災関係機関相互の広域災害時における連携体制の強化を図り、市民参加型訓練や防災啓発を実施したことで、災害時における自助・共助の重要性について理解を深め、防災意識の向上を図るとともに、地域住民、自主防災組織及び関係団体との協力体制を強化することができました。

1,811万965円

放課後児童健全育成事業



小学校児童のうち、帰宅後、就労等により保護者のいない児童を保育することにより、児童の健全育成を図りました。指定管理者に委託することにより、年間延べ4,480人の児童を保育することができました。

1億3,742万278円

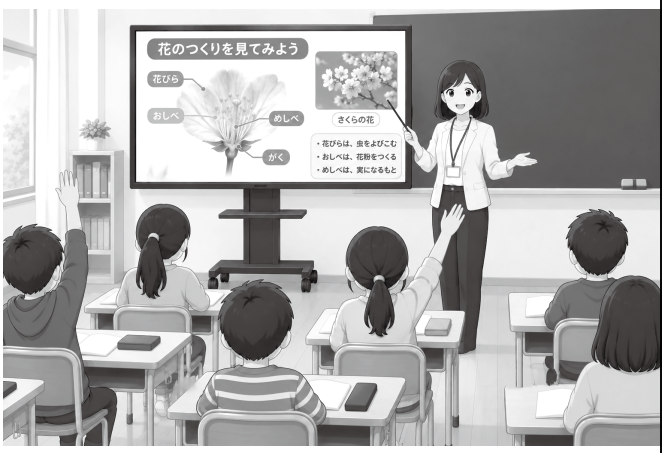
議案第57号　　財産の取得について

小・中学校に大型モニターが整備されます

市内の小・中学校に電子黒板機能を備えた65インチの大型モニター 79台が整備されます。

令和９年４月には、市内の全ての小・中・義務教育学校の教室に１台ずつ配置できることとなります。

教科書や資料、写真、動画などを大きく映し出すことができるほか、電子黒板機能も活用することで、児童生徒が視覚的に分かりやすく学習できるなど、授業の充実につながります。



デジタル環境を整備することで、より分かりやすく、より豊かな学びにつながることが期待されます。

議案第58号 令和８年度幸手市一般会計補正予算（第２号）

行幸小・さくら小の体育館改修へ

空調設備の設置に向けた設計を実施

学校名	R６	R７	R８	R９	R10	R11
上高野小学校	設計	工事	運用開始			
東　中学校	設計	工事	運用開始			
長　倉小学校		設計	工事	運用開始		
幸　手中学校		設計	工事	運用開始		
幸　手小学校			設計	工事	運用開始	
西　中学校			設計	工事	運用開始	
行　幸小学校			設計	工事	運用開始	
さくら小学校			設計	工事	運用開始	

本計画は、現時点の予定であり、今後の社会情勢や工事の進捗により、時期が前後する場合がありますのであらかじめ御了承ください。

今回行うのは設計業務です

建物や設備の状況を調査し、空調設備の設置を含めた改修内容や工事費を具体化します。


現在のさくら小学校体育館



校舎照明のLED化も進めます

体育館改修の設計とは別に、行幸小・さくら小の校舎照明をLED化するための設計業務も行います。

アライグマ等捕獲処分業務



市民から相談があった際は、委託業者が箱わなを設置し、アライグマなどを捕獲した場合の処分や、わなの回収、洗浄、再設置まで行います。

猫などの錯誤捕獲があった場合は、放獣まで対応します。

令和７年度はアライグマの捕獲、殺処分が57件ありました。

お困りの方は環境課まで。

☎（48）0331

今月の表紙





吉田小学校の稲刈り体験の様子です。児童は2学年ずつ3組に分かれ、全員で稲刈りに挑戦しました。1年生と6年生は一緒に田んぼに入り、お兄さん、お姉さんに手伝ってもらいながら、1年生も鎌を上手に使って稲を刈りました。

地元農家の皆さんのご協力のもと、米どころ幸手市ならではの貴重な体験となりました。米作りを身近に学ぶこの体験を通して、将来の幸手の農業を担う子どもたちが育っていくことを願います。

刈り取った稲は、この後、乾燥・精米し、給食でいただく予定です。自分たちで収穫したお米の味が楽しみですね。

幸手市市制施行40周年
きっと、ずっと、幸手



10月3日市制施行40周年記念式典開催
～40年の歩みを、次の時代へ～

市政や地域の発展に尽力されてきた多くの方々が出席。議長が議会を代表して挨拶致しました。子どもたちの元気な開会の言葉で始まった式典は、40年の歩みと、これからの幸手をつなぐ節目となりました。

市民とともにつくる40周年　市民提案事業





10月4日
幸手駅西口　未来へのパレード
～地域の「やってみよう」が形に～

上高野区長会の皆さんが中心となり、地域の力を集めての開催。今年度で最後となる上高野小学校鼓笛隊の演奏を、地域の皆さんで見守りました。多くの人が集い、子どもたちの姿とともに、地域の想いを未来へつなぐ一日となりました。

11月22日開催予定
スカイランタンまつり
～まちの楽しみを育てる～

幸手青年会議所の皆さんが企画するスカイランタンまつり。市民がたのしみながら街に関わり、人と人とのつながりが生まれる。そんな取り組みがこれからも広がって欲しいと思います。　（権現堂２号公園にて開催）

40周年記念映画
『桜の下のポリフォニー』

国際映画祭への挑戦のため、現在はまだ作品の全貌は未公開ですが、来年春に劇場公開されます。ぜひ劇場で、幸手市の魅力を感じてください。

一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

今定例会では、13人の議員が９月２日、３日、４日に一般質問を行いました。
質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

芦葉弘志議員

○補聴器購入補助金について
○耐震診断、改修工事補助金について
○不登校対策およびフリースクールの助成について

宮澤大地議員

○子育て世代における各種申請手続きの負担軽減について
○物価高騰を踏まえた建設工事費及び学校給食の安定的な提供について

本田謡子議員

○防災について
○教育対策について
○高齢者の施策について
○クビアカツヤカミキリについて

坂本達夫議員

○「市役所本庁舎建て替え計画の推進」と「市民・職員の命を守ること」の両立について
○旧香日向小学校の賃貸借契約について
○さくらマラソンについて
○移動販売車「とくし丸」、「うえたん号」について
○中川崎香取神社のブランコについて

小河原浩和議員

○幸手市の農業振興について
○移動販売車の活動状況について

枝久保喜八郎議員

○今後の教育及び学びの未来について
○天神の湯の再開について
○新公共交通の進展について



四本奈緒美議員

○「りんごの棚」と読書バリアフリーの推進について
○子宮頸がんおよびHPV関連がんの撲滅に向けて
○災害時の命を守る対策について

髙野優一議員

○戸島未整理地区の開発について
○防犯カメラ設置について
○外国人住民が安心して暮らせる体制作りについて
○ふるさと納税について

小林英雄議員

○廃棄物処理について
○「アスカル幸手」臨時駐車場の設置について

松田雅代議員

○令和８年熊本地震及び千葉豪雨災害から見る幸手市の防災・減災体制の実効性の検証について
○AI時代の「問い力」育成について
○看護師育成の地域ポテンシャルについて

大平泰二議員

○駅西口土地区画整理・幸手駅舎
○アスベスト問題
○重点事業の市債発行見込と財政問題について
○市民要望

小泉圭司議員

○災害時における避難所の開設及び避難体制について
○災害時の入浴支援と天神の湯等の公共施設機能の再生について
○公共施設個別施設計画の具体化と新庁舎整備について
○学校・保護者・教職員が安心できる相談・対応体制について

木村治夫議員

○「災害時協力井戸」登録の確立に向けて

９月定例会　会期日程

- ９月１日（本会議）
  - 開会
  - 議事日程の報告
  - 会議録署名議員の指名
  - 会期の決定
  - 報告事項
  - 市長提出議案一括上程、提案理由説明
- ９月２日（本会議）
  - 議事日程の報告
  - 市政に対する一般質問
- ９月３日（本会議）
  - 議事日程の報告
  - 市政に対する一般質問
- ９月４日（本会議）
  - 議事日程の報告
  - 市政に対する一般質問
- ９月10日（本会議）
  - 議事日程の報告
  - 議案に対する質疑
  - 議案の委員会付託
- ９月11日（委員会）
  - 文教厚生常任委員会
- ９月15日（委員会）
  - 総務常任委員会
- ９月17日（委員会）
  - 建設経済常任委員会
- ９月29日（本会議）
  - 議事日程の報告
  - 委員長報告、質疑、討論、採決
  - 閉会

９月定例会

傍聴者

19人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数

インターネットを利用した議会中継（ライブ及び録画）を行っております。

7月	8月	9月
60件	**60件**	**3,593件**

の方が視聴されました。

配信、動画サイトはコチラ→

一般質問



不登校対策

芦葉 弘志（あしば ひろし）

市の不登校対策は？

答弁 スペシャルサポートルーム設置など

問　文部科学省の「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策」（COCOLOプラン）の通知を受けて市が取り組んできたことは。

教育部長　令和6年度以降、市内の全小中学校に、校内教育支援センターとしての「スペシャルサポートルーム」を設置し、クラスに入りづらい児童生徒が教室以外でも、安心して過ごせる居場所づくりを進めました。「心すこやか支援室」では、不登校の児童・生徒を受け入れ、多様なニーズに応ずるべく、通室頻度や時間、学習内容などを、柔軟に対応することで、個に応じた学習支援を充実するとともに、市独自でスクールカウンセラーを配置して相談支援体制を強化しました。昨年度より、埼玉県と連携して「メタバース空間を活用した不登校児童生徒等支援事業（埼玉県メタキャンパス）」に参加する市町と連携して、メタバース上でのアバターを介した学習支援、オンライン授業を行っています。本年度は心すこやか支援室を拠点とした「心すこやかラボ」を企画して、オンライン支援活用を更に推進しました。



心すこやか支援室（幸手市HPより）



手続き支援

宮澤大地（みやざわだいち）

子育て手続きにも支援を

問　子育て世代向けの申請について、オンライン申請や電子提出、入力項目の簡素化、同じ情報を何度も記入しなくて済む仕組み等、分かりやすく利用しやすい手続きへ改善する考えは。

健康福祉部長　電子化・簡素化が可能な手続きは積極的に進め、難しい手続きも申請者の負担を少しでも軽減できるよう、手続きの在り方を検討する。

問　制度の公平性や不正防止のため、就労状況の確認が必要なことは理解している。その上で、勤務先や勤務形態に変更がない場合も、就労証明書の提出頻度等を見直す余地はないか。

健康福祉部長　保育の必要性を確認する大切な根拠となる資料として、毎年度提出を求めている。国の制度や他自治体の取り組み状況も踏まえ、負担軽減に繋がる手続きを検討する。

子育て申請の負担軽減は？

答弁 先進事例を研究し、前向きに検討

学校給食の安定的な提供

問　食材費や人件費が上昇する中、給食の安全性と質を保ち、安定的に提供するため、どのように対応するのか。

教育部長　登録事業者から食材を調達し、給食用米には幸手産米も活用している。献立を工夫しながら、安全で栄養バランスの取れた給食に努め、必要な場合は補正予算で対応する。

市長　給食費無償化は私の公約であり、継続して実施する。児童生徒に安全・安心な学校給食を安定的に提供できるよう取り組む。

一般質問

災害から守る



本田 謡子（ほんだ ようこ）

避難行動要支援者を守れるのか

答弁 個別避難計画書提出者増を検討

問 避難行動要支援者（75歳以上等の自力非難が困難な人）の個別避難計画書提出は、全体の半分に満たない原因と対策は。

市民生活部長 提出は郵送による返送です。福祉専門職や避難支援等関係者などと連携することや、回答しやすいようにデジタル技術を活用する方法を検討したい。

問 福祉避難所（一般の避難所では過ごすのが難しい要配慮者とその家族の避難所）は二次避難であるが、一次避難所同様に最初に開設できないものか。

市民生活部長 一次避難所となる福祉避難所設定の必要性について、防災部門や福祉部門において議論を重ね検討している。

問 災害に関する協定において、締結日の年数が経過、市長や企業代表者名が代替わりしている現状で、有効期限は。また、その後のつながりはあるのか。

市民生活部長 有効期限は定めていない。会社名等については、年一回確認をしている。協定の実効性は今後さらに関係を密にし、情報交換をしながら防災にあたりたい。

問 幸手市に感震ブレーカー設置は。

総務部長 本庁舎・ウェルス幸手ともに未設置。今後、必要と判断した場合は速やかに対応する。



命を守る？



坂本 達夫（さかもと たつお）

新庁舎整備は、市民の命を守るのか？

答弁 根本的な解決は、新庁舎の早期整備

問 新庁舎の整備スケジュールを伺う。

総合政策部長 令和7年度から令和8年度の2か年度で基本計画を策定する予定である。その後、令和9年度に基本設計、令和10年度に実施設計、令和11年度から着工を予定しているが、様々な要因で変更を余儀なくされる可能性もある。

問 現在の本庁舎は、震度6強の地震で倒壊又は崩壊する危険が高いと診断されている。市長は震度6強の地震は幸手市では起きないという考えか。

市長 日本のいかなる場所でも、大きな地震が起きないとは言えない。だからこそ、庁舎整備を早急に進めている。

問 大きな地震が起きると、本庁舎は倒壊又は崩壊し、市民や職員を巻き込むことになる。それでも市長は新庁舎が完成するまで現在の本庁舎を使い続けるのか。

市長 様々な要素や課題を総合的に勘案し、これらの根本的な解決には、新庁舎の整備が必要であると考えており、早期の実現に向けて取り組んでいる。



耐震性に課題のある市役所本庁舎

一般質問



農業振興は

おがわらひろかず
小河原浩和

地域計画の目的は

答弁 10年後の農業の担い手を考える

問 地域計画の進捗状況は

建設経済部長 担い手への農地集約目標面積６７８ヘクタールに対し、現集約面積は３１０ヘクタールで、目標に対する達成状況は46％となっている。

問 令和６年との比較は

建設経済部長 担い手への農地集約目標面積は１５１ヘクタール、担い手の数は９名増加している。

問 さらなる担い手の育成策は

建設経済部長 地域おこし協力隊事業の実施や新規担い手農業者育成塾の創設により担い手の育成を図っている。

問 地域おこし協力隊の活動は

建設経済部長 県外から移住した新規就農希望者２名が市内農業者のもとでの農業研修をはじめ、幸手産農産物の広報活動や小学校の児童を対象にした農業体験などの活動を行っている。

問 地域おこし協力隊等新規就農希望者の支援策は有るのか

建設経済部長 研修先や農地の紹介、さらに独立就農に向けた経費の一部について補助金を交付している。

問 小規模自作農家への支援策は

建設経済部長 イネカメムシの防除薬剤購入費用や狭小農地の畦畔撤去などの農地整備工事の経費の一部について補助金を交付している。

問 地産地消の促進は

建設経済部長 地産地消に取り組むことを宣言する飲食店等の事業所に対し、幸手産米の購入経費の一部について補助金を交付している。また、商工会と連携し、商工会員に対し地産地消の宣言を働きかけるなど、地産地消の促進に努めている。



財政の有効活用

えだくぼきはちろう
枝久保喜八郎

天神の湯の再開は市財政を蝕む

答弁 限られた財源を責任をもって慎重に判断

問 天神の湯の再開には約８千４２０万円かかり、その後の市負担額は年間約５千２４０万円もの赤字を生むとのこと。であれば、多岐にわたる防災減災事業や公共交通制度の利便性向上及び充実等にその赤字分を投入すべきと思うくらいで、現実の厳しい財政事情から再開には無理があり反対である。

市長 本市には解決すべき課題が山積する中、限られた行政資源を最大限に活用し、持続可能な行政運営を実現する責任があることから、天神の湯の方向性については、市財政等全体を総合的に勘案し、慎重に判断していく。

問 ＡＩを取り入れたデジタル教育は、書く力や考える時間が奪われ、子どもの健全な成長が疑問視されているが。

教育長 デジタルに依存することなく、自ら考え、問い、書くといったバランスを図った教育活動の実施を推進していくことが重要であり、そのためのルールやマナーの周知徹底が重要であると認識している。

問 幸手看護学校所有のバスを住民が利用させてもらうことについて、市が提案した協定内容について、早期合意の為の再検討を至急図るべきと思うが。

また、令和８年度開始の国の地域未来交付金は地方自治体の公共交通のシステム設計に利用することが出来るものと思うが、その調査研究はしているか。

市民生活部長 現在、事故等が起こった場合の責任対応について協議を行っているところです。また、地域未来交付金については、地域未来型ということで今後の新たな公共交通の取り組みにも活用できるようですので、研究してまいります。

一般質問



りんごの棚

よつもとなおみ
四本奈緒美

市立図書館香日向分館へ「りんごの棚」の設置を

答弁 実施に向け、検討をしていく

問 読書バリアフリー法の理念のもと、学校図書館に「りんごの棚」を設置するべきと考えるが、設置の考えは。

教育長 「りんごの棚」は、多様な児童生徒が利用出来るインクルーシブな読書空間として、極めて意義がある。「りんごの棚」の趣旨や考え方を取り入れた環境整備を行うよう各小中学校指導をして参りたい。

災害時の給水体制

問 断水時の給水能力は十分か。

水道部長 想定断水人口の約6日分を確保している。

問 指定避難所数に対し給水タンク、応急給水装置等の資機材が圧倒的に不足している。更なる備蓄をするべきと考えるが。水道部長 少なくとも避難所分は対応できるように、順次揃えて参りたい。

HPVワクチン接種率向上

問 子宮頸がんは、HPVワクチン接種により予防可能ながんである。子宮頸がんから若い女性の命を守るために小学6年生から高校1年生までの定期接種対象者全員に個別勧奨通知を毎年送付し、接種率の向上に取り組むべきと考えるが。

健康福祉部長 今年度から新中学1・2年生に学校を通じて勧奨チラシの配布を実施。今後、HPVワクチンの予診票を、新小学6年生に送付の2種混合ワクチンの予診票と同封して、個別通知を行うことについて医師会と協議を進めていきたい。



幸手市立図書館の「りんごの棚」



多文化共生

こうの ゆういち
髙野 優一

多言語による案内文を作成

答弁 通知書等すぐにでも対応

問 市は、外国人住民をはじめ、誰にとっても分かりやすい庁内案内とするため、やさしい日本語、英語、図記号を組み合わせた表示へ見直すべきと考える。

また、納税通知や督促、保険料通知、各種手続案内など、日本語の通知では内容が理解しにくい方もいる。通知書本体とは別に、やさしい日本語や多言語による案内文を作成し、必要な情報が確実に伝わるようにすべきと考えるが、市の見解を伺う。

総務部長 通知書等、すぐにでも対応できるものについては順次取り組んでいく。

防犯カメラ設置

問 国庫支出金等の特定財源が得られる方法などを検討しており、何とか前向きに実施時期を含めて総合的に判断してまいりたいという答弁を頂きましたが、その後について伺う。

教育部長 設置に向けて、検討を重ねている。

戸島未整理地区の開発

問 進捗状況を伺う。

市長 神扇地区において産業団地拡張事業を推進している関係もあり、同一市内の二つの地区を同時に進めることはできない等の見解を頂いている。

企業局による事業が早期に事業検討されるよう、適切な時期に、私自ら企業局に対し要望活動を行っていく。



一般質問



駐車場利用者の為に

こばやし ひでお
小林 英雄

「アスカル幸手」臨時駐車場設置の進捗は

答弁 改めて駐車場の利用状況等を勘案し精査

問　イベント時の駐車場不足解消の為、何年もかけて駐車場設置に向け、政策会議で審査協議し候補地が決定、春日部農林センターとの調整、一部の土地が相続放棄地の為相続財産清算人を選定し進めてきた。今更「必要性を検討する」。行政の検討はやらないとの意味合いもあるがこの場合事業中止ということか。

教育部長　現時点で事業を中止するものではなく改めて検討。

問　地権者二名二筆の農地である候補地、先行取得する考えは。

教育部長　先行し土地だけを取得することは難しい。

問　最初に質問した頃と比べると、ＪＡ全農の施設ができ、周りの環境が変わってきている。

　早め早めの対応をするべきと考える。市は、会津高杖に数億もの投資をして土地を取得したが、現状はほとんど価値がなく使い道もない空き地となっている。この候補地は場所もよくこの先有効に使えると考えられる。農地なので取得金額も低く抑えられ無駄な投資とはならない。やらない理由を考えるのではなく、どうしたらできるかを考えるべきと思うが再度伺う。

教育部長　駐車場の利用状況等を勘案し必要性を再検討する。





防災・減災

まつだ まさよ
松田 雅代

熊本・千葉型災害から見る市の減災への備えは

答弁 最善の方法を検証して行く

問　過去にない災害が相次ぐ中、職員参集・情報伝達など市の防災体制を改めて検証すべきでは。

市民生活部長　これまでの水害活動時の運用の中で把握した課題として、多様な情報収集・情報発信の手法の準備が必要と捉えている。

問　防災行政無線を補完し、市民に「手元情報」を届けるツールとして防災メールは有効。受信登録の拡大を図るべき。また、住民との双方向情報活用体制の整備推進を要望する。

市民生活部長　現在の登録数は２７１６件。避難所開設、冠水等を防災情報メールで発信中だが、それ以上のさらに詳細な情報もできる限り発信していきたい。

幸手市防災情報等メール配信サービス

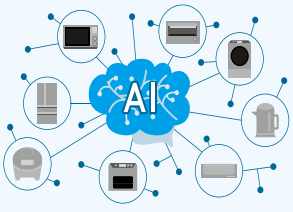
PC・スマートフォン用

ガラケー用

本格的なＡＩ時代に育てたいカ

問　「問い力」育成が重要。

教育部長　今は学びのプロセスを多様に考えていくという授業設計に変わってきている。自らが社会のつくり手となり、未来を切り拓くための資質能力育成を図っていく。



医療人材養成機関の存在という市のポテンシャル

問　市内に複数の看護師等医療人材養成学校が存在する環境を市の強みとすべき。

市長　これらの学校は本市にとって貴重な地域資源であることは認識している。最大限の効果が得られるような連携体制の構築に努めてまいりたい。

一般質問

市民要望について



おおひら たいじ
大平 泰二

問　クーリングシェルターとして使用している幸手市コミュニティセンターのエアコンが故障中との報告があります。
「早く直してもらいたい」との要望が寄せられています。改修見通し及び費用についてについて伺う。

市民生活部長　施設全体の状況を勘案し、故障中のロビー空調機についても順次修繕していきます。なお、ロビー空調機の修繕費用は１５００万円程度を見込んでいます。

問　千塚西公園周辺民家の防音周知対策について。自宅の防音対策の市の助言について伺う。

建設経済部長　成人グループの騒音苦情に対応し注意看板を設置しました。今後も公園管理の徹底と周辺住民への啓発に努めます。

問　香日向地域を流れる河川（大中落）の安全対策の改善（ネットの除去等）について伺う。

建設経済部長　香日向地域の大中落の安全対策は転落防止柵と植樹帯によって確保されているので、ネットはゴミ等が特にひどい個所から順次撤去します。



施設再編



こいずみ けいじ
小泉 圭司

問　新庁舎だけを個別に考えるのではなく、公民館、図書館、福祉施設、学校など、公共施設全体の再編と合わせて検討すべきでは。

総合政策部長　統廃合、複合化、機能移転などを総合的に判断し、検討の熟度に応じて、施設ごとの方向性や優先順位、工程をできる限り具体化して示していく。

問　高齢化が進む中、市役所まで行かなくても、公民館など身近な公共施設で行政サービスや相談を受けられる仕組みを検討すべきでは。

総合政策部長　ＤＸによる行政サービスの変革と公共施設再編を関連するものとして捉える一方、対面での相談や支援が必要な行政サービスについては、より利用しやすい効率的な提供方法を検討していく。

公共施設全体を見据えた新庁舎整備を

答弁　**適正な規模と機能を検討**

学校・保護者・教職員が安心できる相談対応体制を

問　保護者からの正当な相談や意見には丁寧に対応する一方、過度な要求や暴言などは、教職員個人に抱え込ませず、組織として対応すべきでは。

教育部長　学校として情報を共有し、管理職を中心に対応する。学校だけで困難な事案は、教育委員会が学校と連携して対応する。

問　教職員が安心して働けるよう、管理職が対応を引き取る場合や教育委員会につなぐ基準など、学校共通の相談・対応ルールを明確にすべきでは。

教育部長　学校現場の実情に即した対応ルールの整備を進め、教育委員会へ相談・報告する基準や、教職員を一人で対応させない体制などを明確化していく。

一般質問



断水対策

木村治夫（きむらはるお）

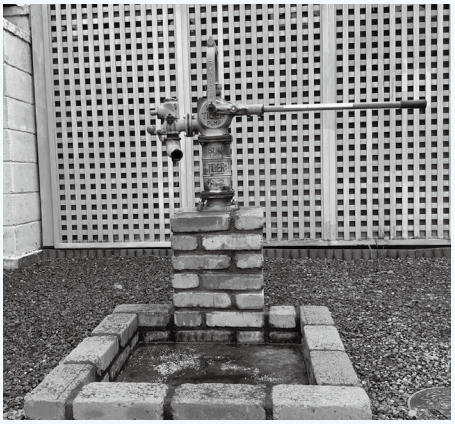
「災害時協力井戸」の登録を確立

答弁 避難所周辺設置、継続機能目指す

問　地震等の大規模災害が発生した場合、断水による生活用水が不足する。個人や企業が所有する井戸を事前登録し、発災時に近隣住民へ無償提供する仕組み、主に断水時のトイレ洗浄・洗濯・入浴・清掃などに使う水を確保することが喫緊の対策である。

　災害時、市の給水だけでは十分に水が行き渡らない。協力井戸を地域で共有できる形にする。市の責務として、水質確認・設備維持・停電対策・周知・協力体制の継続等、登録制度の運営主体について市長に伺います。

市長　災害時に実際活用できる井戸を市内各地域に、バランスよく確保することが重要であると考えている。まずは一件でも多くの登録につなげることを基本とし、避難所周辺ごとの設置を目標とする。地域の皆様のご理解とご協力を頂きながら、災害時に必要となる生活用水を確保できる体制整備に努めていく。安定運用については、災害時地域で活用できる状態を継続的に確保することが重要と考える。井戸所有者の皆様と継続して連携する災害時協力井戸制度を目指す。



正福寺境内に設置の井戸

シェイクアウト訓練を実施

　埼玉県議会議長要請のもと、幸手市議会と市長はじめ、職員との「シェイクアウト埼玉」県内一斉防災訓練を、９月１日本会議閉会後議場にて実施しました。訓練のあと、避難場所、避難経路の確認を行いました。シェイクアウト訓練とは、地震発生を想定し、①まず低く、②頭を守り、③動かない、という３つの安全行動をその場で行うもの。誰でも、どこにいても、簡単に1分程度で実施できる訓練です。





令和８年９月定例会 提出された議案の結果

公明党…公　市民の幸せをつくる会…幸　自由民主党…自　新緑…緑　日本共産党…共　無所属…（○：賛成　×：反対　退：退席　欠：欠席）

（幸手市長提出議案）

議案番号	議席番号・議員名 / 議案名	1 髙野優一（無）	2 小泉圭司（幸）	3 宮澤大地（無）	4 芦葉弘志（公）	5 四本奈緒美（公）	6 坂本達夫（幸）	7 小林英雄（無）	8 枝久保喜八郎（無）	9 木村治夫（自）	10 松田雅代（無）	11 小河原浩和（緑）	12 本田謡子（無）	13 藤沼貢（自）	14 青木章（緑）	15 大平泰二（共）	付託委員会	議決結果
議案第41号	令和７年度幸手市公共下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について 剰余金の処分は、地方公営企業法第３２条第２項の規定により議会の議決を経て行わなければならないため、議会に提出するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員可決
議案第42号	令和７年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額　22,109,584,146 円　歳出決算額　20,737,511,391 円 翌年度に繰り越すべき財源　154,191,000 円 実質収支額　1,217,881,755 円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	総務・文教・建設	賛成全員認定
議案第43号	令和７年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額　5,214,764,871 円　歳出決算額　5,176,068,571 円 翌年度に繰り越すべき財源　0 円 実質収支額　38,696,300 円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員認定
議案第44号	令和７年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額　1,004,665,304 円　歳出決算額　992,849,005 円 翌年度に繰り越すべき財源　0 円 実質収支額　11,816,299 円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	文教	賛成多数認定
議案第45号	令和７年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額　4,709,366,369 円　歳出決算額　4,373,942,346 円 翌年度に繰り越すべき財源　5,983,000 円 実質収支額　329,441,023 円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員認定
議案第46号	令和７年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 歳入決算額　410,915,360 円　歳出決算額　390,575,229 円 翌年度に繰り越すべき財源　8,391,000 円 実質収支額　11,949,131 円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	建設	賛成多数認定
議案第47号	令和７年度幸手市水道事業会計決算の認定について 収益的収入決算額　1,074,963,729 円　収益的支出決算額　1,091,881,438 円 資本的収入決算額　31,186,660 円　資本的支出決算額　236,104,384 円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員認定
議案第48号	令和７年度幸手市公共下水道事業会計決算の認定について 収益的収入決算額　744,935,136 円　収益的支出決算額　702,482,568 円 資本的収入決算額　530,090,300 円　資本的支出決算額　607,381,227 円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員認定
議案第49号	令和７年度幸手市農業集落排水事業会計決算の認定について 収益的収入決算額　37,861,016 円　収益的支出決算額　36,497,124 円 資本的収入決算額　15,518,886 円　資本的支出決算額　17,126,886 円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員認定
議案第50号	職員等の旅費に関する条例 国家公務員等の旅費の支給に関する法律の一部改正を踏まえた、職員等の旅費に関する条例の全部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	総務	賛成全員可決
議案第51号	幸手市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例 中学校就学の始期に達するまでの子がいる職員が早出遅出勤務を取得できるよう制度拡充に伴う所要の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	総務	賛成全員可決
議案第52号	幸手市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例 地方自治法施行規則の一部改正に伴う所要の改正 職務代行者及び地縁団体登録台帳に関する引用条項その他所要の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第53号	幸手市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例 出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴う所要の改正 特定在留カード等を利用した多機能端末機による印鑑登録証明書の交付申請に係る規定の整備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第54号	幸手市子ども医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例 社会保険診療報酬支払基金法の一部改正に伴う所要の改正 社会保険診療報酬支払基金の名称の改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第55号	市道路線の変更について 路線の起点、終点を変更するため、この案を提出するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員可決
議案第56号	市道路線の廃止について 路線を廃止するため、この案を提出するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員可決
議案第57号	財産の取得について 財産の取得にあたり、地方自治法第９６条第１項第８号の規定により議会に提出するもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第58号	令和８年度幸手市一般会計補正予算（第２号） 補正予算額　442,188 千円　補正後歳入歳出予算総額　20,772,323 千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	総務・文教・建設	賛成全員可決
議案第59号	令和８年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算（第１号） 補正予算額　31,860 千円　補正後歳入歳出予算総額　5,435,427 千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第60号	令和８年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号） 補正予算額　63,896 千円　補正後歳入歳出予算総額　1,196,263 千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	文教	賛成多数可決
議案第61号	令和８年度幸手市介護保険特別会計補正予算（第１号） 補正予算額　330,083 千円　補正後歳入歳出予算総額　4,962,267 千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	文教	賛成全員可決
議案第62号	令和８年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算（第１号） 補正予算額　12,254 千円　補正後歳入歳出予算総額　377,019 千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	建設	賛成多数可決
議案第63号	令和８年度幸手市水道事業会計補正予算（第２号） 収益的収入補正額　0 千円　収益的支出補正額　28,915 千円 資本的収入補正額　0 千円　資本的支出補正額　△ 23 千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	×	建設	賛成多数可決
議案第64号	令和８年度幸手市公共下水道事業会計補正予算（第１号） 収益的収入補正額　△ 6,713 千円　収益的支出補正額　△ 6,173 千円 資本的収入補正額　△ 40,021 千円　資本的支出補正額　△ 34,635 千円	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	建設	賛成全員可決
議案第65号	教育委員会委員の任命について 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第４条第２項の規定により、その任命について議会の同意を求めるもの	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—	欠	—	賛成多数同意
議案第66号	固定資産評価審査委員会委員の選任について 地方税法第４２３条第３項の規定により、その選任について議会の同意を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	欠	—	賛成全員同意
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて 人権擁護委員法第６条第３項の規定により、その推薦について議会の意見を求めるもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	欠	—	賛成全員同意

（議員提出議案）

決議案第1号	市議会議員と市職員のハラスメント調査実施に関する決議案	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	—	○	—	賛成少数否決

※議長は表決に参加しないため、「ー」となっています。

幸手のまちで暮らす

第2回 市民インタビュー

幸手で「やりたいこと」を形にする

民泊、絵本、地域づくり――人とのつながりから生まれる挑戦





さいとう はやと 齋藤 隼人さん

幸手との出会いは？

子どもの頃に訪れた権現堂の桜まつりが最初です。沖縄で育ったので、桜並木に沿ってたくさんの出店が並ぶ光景が印象的で、「面白い」と思ったので移住してきました。幸手には観光資源があるのに泊まる場所が少ないと感じ、まず不動産を購入し、自分たちで改修して民泊をはじめました。内装の経験を生かせたのも大きかったですね。

実際に暮らしてみて、幸手の印象は変わりましたか？

変わりましたね。幸手の人たちは距離が近くて、人情味があるんです。イベントに参加したり、SNSでつながったりするうちに、いろいろな相談や声を掛けてもらえるようになりました。今では「このまま住み続けたい」と思っています。

絵本づくりにも取り組んでいるそうですね。

幸手に伝わる「ネロハー」をきっかけに、地域の伝承や歴史を子どもたちに伝える絵本を作っています。AIで絵を作り、デザイン経験のある妻にも意見をもらいながら、夫婦で形にしています。今後も地域の物語を作品にしていきたいです。ほかに「ネロハー」を中心に、地域だけではなく、いろいろな物語やキャラクターを出したオリジナル作品も考えています。

民泊を通じて、どんなことを目指していますか？

民泊は、幸手を知ってもらう入口にしたいんです。観光客だけでなく、イベントに参加する人や、家族が帰省するときに利用する人もいます。空き家を活用して、地域に新しい滞在の選択肢を増やしたいですね。権現堂などを訪れた人が幸手に泊まり、まちを歩いて、お店にも立ち寄ってくれる流れをつくれたらと思っています。



イベントに参加しています

これから挑戦したいことは？

商店街に人が集まる場所をつくりたいです。カフェや菓子づくり、沖縄そばを出す小料理屋など、いろいろな可能性を考えています。市外から来た人と、もともと幸手で頑張っている人が力を合わせれば、もっと面白いことができるはずです。

とにかく幸手を盛り上げたい。幸手に入ってくる人を増やしたいんです。人が増えれば、新しいお店や活動も生まれます。人とのつながりを大切にしながら、幸手でやりたいことを一つずつ形にしていきたいですね。

議会広報編集委員

委員長 青木 章
副委員長 四本 奈緒美
委員 髙野 優一
委員 小泉 圭司
委員 宮澤 大地
委員 芦葉 弘志
委員 木村 治夫
委員 松田 雅代
委員 小河原 浩和

編集後記

令和8年は、日本全国各地で自然災害が多発し、改めて甚災害の恐ろしさを痛感した年でもあります。議会では、第3回定例会にて、令和7年度決算議会として、慎重に審議し、提出議案全可決成立しました。議会は合議制の意思決定機関として、責任を持って市民の負託に応えること、また、政策立案、決定、評価等、論点課題を市民に対し公開する、そして、議員同士においても自由闊達な議論を行い、政策提言を実現するとともに、執行機関の事務が適正に執行されるよう、監視機能を発揮すること、また市民から信頼される議会であるために、議員の自己研鑽と資質の向上を図り、公平性・透明性を確保することにより、市民とともに歩む、市民のための市政を目指してまいります。

市議会だより
バックナンバーは
コチラ↓

[SATTE GIKAI] No.120 令和8年11月1日発行 ■発 行:幸手市議会 〒340-0192幸手市東4-6-8 Tel 0480(43)1111 ■編 集:幸手市議会広報編集委員会
この広報誌は資源保護のため、再生紙および植物油インキを使用しています。